



みんなは ウミヘビに 追いかけられたことはありますか？

「令和3年 わたしの夏休みの思い出・・・」

*7-9版は学校ホームページから見ることができます。

「こーちょーせんせい、ふつうのヘビにもふつうは追いかけられません…」とみんなにつっこまれそーですよ。

そうなんです。ウミヘビさんは、すごい毒をもっていますが、性格はおとなしく、またふつうのヘビと同じ肺で呼吸しています。だから時々水面に呼吸をしにいきます。そのため、水の中をかみついてくるなどまずありません。では、いったいこの夏どのような体験をしたのでしょうか???

話は、令和3年8月4日種子島の海のできごとです…。

この日わたしは、お昼から酸素ボンベ背負って、2本海に潜りました。目的は、海の中にいるお友達にあいさつをしに行ったのです。

お友達とは、ハゼ（海の底にすんでるお魚）この子たちは、海の底でエビと一緒にすんでいます。



エビにすみかとなる穴をほってもらかわりに、ハゼはずっと穴の外で見張りをしています。これを共生といいます。“敵がきた！”となるとエビもハゼも穴にいちもくさんに逃げ込んでしまいます。

ダイバーの力量は、このハゼにどれだけ近づけるかで、はかることができます。まず、そーっと海底に張りつき、ハゼが驚かないように、静かな呼吸でやさしく近づきます。

???おまえ誰 みたいな顔しているハゼに

あ、あやしいものではありません。お友達ですよ～

と、そっと近づいて写真を撮らせてもらうのです。

ハゼにもいろいろ種類があつて、上の写真のダテハゼは、わりとフレンドリーで近づきやすいのですが、下の写真に写



っているホタテツノハゼ（鼻の先に2本の角があり、背びれを広げるとホタテ貝の形をしています）

は、その形からダイバーに人気があるのですが、すんでるところが深い（写真は海底24m地点）

上に神経質で、なかなか姿を見つけることすらできないレアな存在なのです。ところが、

わたしはこの子たちと仲良しで、会いに行きました。事件はその時起こったのです！

(裏面へつづく)

